

第 15 回小田原市市民活動推進委員会 会議録

- 1 日時：令和 7 年 5 月 23 日（金）午前 9 時 30 分～午前 11 時 30 分
- 2 場所：おだわら市民交流センター UMECO 会議室 5・6
- 3 出席者：前田委員長、林田副委員長、杉浦委員、北村委員、渡邊委員、島田委員、安藤委員
関係者：おだわら市民交流センター UMECO 指定管理者 柏木センター長、興津副センター長、飯塚氏、吉田氏（議題（2）まで）
事務局：草柳課長、八田副課長、城戸主査、菊地主事
- 4 欠席者：田代委員
- 5 資料：
 - ・次第
 - ・資料 1 市民活動・協働応援制度補助金交付事業報告会実施要領
 - ・資料 2-1 令和 6 年度おだわら市民交流センター UMECO 会議室等の利用状況
 - ・資料 2-2 令和 6 年度市民活動団体登録状況内訳
 - ・資料 2-3 令和 6 年度おだわら市民交流センター UMECO へのご意見・ご要望
 - ・資料 2-4 令和 6 年度事業一覧と実施時期
 - ・資料 2-5 令和 6 年度おだわら市民交流センター UMECO 実施事業結果報告
 - ・資料 2-6 おだわら市民交流センター UMECO アンケート結果まとめ（令和 6 年度）
 - ・資料 2-7 おだわら市民交流センター UMECO 指摘事項に係る対応状況（令和 6 年度末）
 - ・資料 2-8 おだわら市民交流センター UMECO 指定管理者自己評価表（令和 6 年度分）
 - ・資料 3 令和 6 年度おだわら市民交流センター UMECO 第三者評価シート
 - ・資料 4 第 11 期委員会答申書
 - ・資料 4-1 小田原市市民活動・協働応援制度補助金交付事業に関する調査結果（令和 6 年度補助金交付団体）
 - ・資料 4-2 小田原市市民活動・協働応援制度補助金交付事業に関する調査結果（UMECO 登録団体）

6 会議内容

■ 開会

■ 議題（1）市民活動・協働応援制度補助金交付事業報告会について

委員長：議題（1）市民活動・協働応援制度補助金交付事業報告会に入る。本委員会は、議事に関係のある方に出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。本議題に関し、おだわら市民交流センターの指定管理者にお越しいただいている。それでは、事務局から御説明をお願いしたい。

（事務局 資料 1 に基づいて説明）

委員長：ただいまの説明で何か意見や質問はあるか。

委員：交流シートについて、何件くらい提出があったのか。また実際に繋がった件数は何件であるのか。

事務局：一般参加者の交流シート提出枚数は 1～2 枚程度と少なく、報告団体からの提出もそこまで多くはなかった。また、協働しているとの報告は現時点では伺っていない。

委員長：コロナ禍以前は活動エリア付近で、対面形式の交流会を実施していた。

事務局：コロナ禍が空けた今、来年あたりから対面形式の交流会を復活させるのもよいかもしれない。検討する。

委員：報告会においても同じ交付団体なので、団体間の交流を促進したいと考えている。

委員長：現在、報告団体には集合時間についてどのくらいで案内しているのか。

事務局：第 1 部報告団体へは第 1 部開始の 10 分前、第 2 部報告団体へは第 2 部開始の 10 分前として受付時間を案内している。

委員：通知文に団体間の交流を促す内容を加えてもよいかもしれない。

委員：「6 プログラム（予定）」について、協働している団体が第 2 部の後半にまとまっている。この内容は他団体の参考になると思うので、様々な団体に見てもらえるように促したい。

■ 議題（２）おだわら市民交流センターUMECO令和6年度事業報告について

委員長：議題（２）おだわら市民交流センターUMECO令和6年度事業報告についてに入る。本議題においても、引き続き指定管理者に御出席いただいている。それでは、指定管理者から御説明をお願いしたい。

（指定管理者 資料2-1～2-8に基づいて説明）

委員長：ただいまの説明で何か意見や質問はあるか。

委員：資料2-6のアンケート結果について、「昨年度の数値」の記入がない箇所や数値が誤っている箇所がある。（8設問5、10(2)設問1、14(2)設問3）

指定管理者：その通りである。申し訳ない。

委員：過去の委員会でアンケートの回収率を高めるという話があったかと思うが、そこまでの結果が出ていない。このことについてUMECOの自己評価を伺いたい。

指定管理者：アンケートは、対面で渡せる場合は、直接依頼する形式をとっている。UMECO祭りでは対面でアンケートを渡すが、そのまま帰る参加者も多く、回答は任意であるので、回収率の向上には限界がある。また企画展では、アンケート回収BOXを設置しているが、常時スタッフがいるわけではなく、現在の回収率は10%程度にとどまっているのが現状。

委員：資料2-6には、自由記述に関する記述がないが、アンケートには自由記述欄はあるのか。

指定管理者：アンケートには、自由記述欄を設けている。今回は、表記の関係で記載していないが、必要であれば載せる。

委員：資料2-5の「10 夏休みボランティア体験学習」について、課題・対応欄に、「「まごころカード」を早めに入手したいとの要望が多かったので、手続きの検討が必要である。」との記述があった。まごころカードはどのくらいで手元に届くのか。

指定管理者：長いと1か月以上かかっていた。これまで、まごころカードの需要はそこまでなく、発行期間について特に重視していなかった。しかし昨年、大学への受験に使えるということで、高校生の参加者が増えた。今年度は早く出せるように考えている。

委員：アンケートの取り方について、UMECO祭りでは、出展団体は主催者側に近い立場であると考えられる。アンケート自体は任意ではあると思うが、出展団体には提出を義務付ける形にしてもよいかもしれない。

委員：資料2-5の「6 企業とのネットワーク」について、目的を伺いたい。

指定管理者：企業とのネットワークは、その下に記載している地域とのネットワークとも通ずるところがあるが、地域貢献を目的としている。また、団体が企業に対する目的を明確にしないと、企業側も対応が難しいと思うので、団体は企業に何を求めるのかを明確にする必要がある。

委員：資料を見ると、マンパワー不足をどう補うかがわからない。他の地域では、企業の退職者を対象とした講座に出向いたりしている。

指定管理者：企業とNPO法人のつながりという資金協力が中心になりがちであるが、コラボ的な取り組みを期待したい。

委員：NPO法人に対する指導はUMECOの役割であると思うので、お願いしたい。

委員：今の話に加えて、今週商工会議所で催しがあり、そこにNPOのスポーツ団体が参加していた。参加理由を伺ったところ、企業ブースでPRしてよいからとのことであった。また、さがみ信用金庫で9月13日に100周年事業として、産業祭りを小田原アリーナで開催するとのこと。現在様々な企業に出店の打診をしているみたいなので、UMECOが市民活動団体を取りまとめて、ブースを出すのも一つの方法ではないかと考える。

指定管理者：ぜひ検討したい。

委員長：資料2-5の「9 市民活動入門講座」について、資料2-4をみると私立高校で3回実施したとある。公立高校には何かアプローチしているのか。また、「14 UMECO祭り」の来館者数が昨年よりも少なかったことについて、要因をどのように考えているか伺いたい。

指定管理者：市民活動入門講座については、私立高校から要望があったため、それに応じる形で実施してきた。公立高校に対しては、ほとんど何もしていないのが現状。今後は夏休みボランティア体験学習についての資料配布の打診をしたいと考えている。また、UMECO祭りの来館者数減少の要因については、明確にはつかめていない。イベントが重なったことや、連休中であり行楽に出かけた人が多かった可能性があると考えているが、逆に観光客の方

がUMECO祭りを訪れた例もあったので、これらが直接の理由とは断定できない。

■ 議題（3）おだわら市民交流センターUMECO第三者評価について

委員長：議題（3）おだわら市民交流センターUMECO第三者評価について、事務局から御説明をお願いしたい。

（事務局 資料3に基づいて説明）

委員長：ただいまの説明で何か質問はあるか。

（発言なし）

委員長：それでは、これから評価に入る。本日は意見交換を行い、後日、各委員から事務局に評価シートを御提出いただく形であるので、よろしくをお願いしたい。まずは、機能の達成状況について、何か意見等はあるか。

委員：「（1）6つの機能」の「②相談・支援機能」について、以前はUMECOに寄せられた相談一覧についての資料があった。

事務局：UMECOに確認して早急にお送りする。

委員：「（2）その他」の「①男女共同参画」や「②国際交流」についての説明があまりなかった。

事務局：UMECOは男女共同参画や国際交流の役割をもっているが、今まで仕様で明確になっていなかった。指定候補者選定委員会でその仕様を明確にしたので、注目する必要がある。補足としてUMECOは国際交流について、外国人向けの日本語教室を行う市民活動団体が活動した後に、国際交流の場を用意するという取り組みを試行していた。しかしながら、なかなか参加者が集まらなかったとのこと。

委員：資料2-8のUMECOの自己評価について5段階評価である。今年から他が4段階になっているので、来年度以降UMECOの自己評価についても4段階にしてほしい。

事務局：次回以降そのようにする。

委員長：続いてコンセプトの達成状況については、意見等はあるか。

委員：「地域の課題を解決する行動を社会貢献につなげる実現の場」について、どのように判断するのがベストか。

委員長：参考資料の裏面に対応する数字が書いてあるので、そこを見るとよいが、解決したかの判断が難しい。それでは、本日の御意見等を踏まえ、各委員で評価を実施し、後日事務局に御提出いただく。締切については5月30日（金）である。とりまとめたものを各委員及び正副委員長で確認し、確定とする。

■ 議題（4）第11期委員会答申書について

委員長：議題（4）第11期委員会答申書について、事務局から御説明をお願いしたい。

（事務局 資料4に基づいて説明）

委員長：ただいまの説明で何か意見や質問はあるか。

（発言なし）

委員長：それでは、第三者評価の締切は5月30日（金）であるので、事務局においてこれをまとめたものを答申書にいらていただき、令和6年度のUMECOの第三者評価を添付し、6月中旬に各委員及び正副委員長で確認後、最終版とする。

事務局：市長への報告書提出は、7月3日（木）午後4時30分から実施させていただく。当日は、委員長から市長へ報告書提出、委員長より概要説明、各委員より一言ずつ御意見等をいただき、懇談という流れとさせていただきたい。

■ その他

委員長：その他について、事務局からお願いする。

（事務局 今後の会議日程の確認等）

※今後の会議日程等は次のとおりとする。

第16回委員会（事業報告会）・・・6月21日（土）午後 UMECO

■ 閉会